

ダン・ザハヴィ教授講演会

コペンハーゲン大学主観性研究センター所長のダン・ザハヴィ教授（Prof. Dan Zahavi）をお迎えして下記の通り講演会を開催いたします。

From White to Black and Back Again: Empathy, Alterity,

Morality

日時：2017年10月19日（木）17：00 - 18：30

場所：同志社大学室町キャンパス6階大会議室

使用言語：英語

主催：同志社大学文学部哲学科

共催：同志社大学文化学会

* 事前申し込み不要・入場無料

ダン・ザハヴィ教授について

ザハヴィ教授は現象学の世界的権威として知られ、現在、主として現象学、心の哲学、認知科学の分野の自己性、自己意識、相互主観性、社会的認知、時間性、社会性、恥、共感、集合的志向性などのさまざまな主題を研究しておられます。数多くのご著書やご論考を執筆されるとともに、『フッサールの現象学』、『現象学的な心』、『初学者のための現象学』、『自己意識と他性』が日本語に翻訳されています。

今回のご講演では、精神医科学、情動神経科学、発達心理学、人間学、哲学などのさまざまな学科での関心が高まる共感を主題とし、共感が道徳的に疑わしいというブルーム、ブバント、ウィラーズレフらによる最近の主張を議論した上で、現象学的伝統に見出すことができる共感についての異なる構想に向かい、他者の差異を体験的に正確に理解することの重要性を際立たせる現象学的モデルに基づく共感が中心的道徳的意義を持ち続けていることを明らかにするというご自身の最新の研究内容についてお話しいたします。